

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野スポーツ振興事業団						
①	指標名	スポーツ教室参加率			目標値	96	実績値	98
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	102.1%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位:%)	91	87	96				
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 参加者の増加を図るため、市報・情報誌への掲載、ホームページによる告知、チラシの配布等、情報の提供を積極的に行った。 ② 小・中学生向けの教室は、チラシを作成し学校を通して全児童、生徒に配布し、参加者の増加を図った。 ③ 大人向けの教室は、終了後アンケート調査等を実施し、その結果を事業運営に生かすことで市民満足の向上を図り、参加者増につなげる努力をした。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○ スポーツ教室全体としては目標を達成したが、まだ参加率の低い教室も存在するため、今後も情報の提供・PR等に努め、参加者の増加を図るとともに、教室の見直しも行って行きたい。							
二次評価	●スポーツ教室の定員に対する参加者の割合を目標に設定している。18年度は、当初設定した目標を達成しているが、この指標の設定が適切かどうか検討する必要がある。 ●教室としては、「脂肪燃焼ウォーキング」「エレガンスストレッチ」「やさしいヨーガ」など特徴的で人気のある教室を開催している。 ●教室の参加者には、終了後のアンケート調査を実施するなど、常に参加者の満足度やニーズに基づく事業運営の努力をしており、評価できる。							
①	指標名	ワンデーレッスン参加者数			目標値	35,867人	実績値	36,271人
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	101.1%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位:人)	31,873	30,971	34,834				
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① スポーツ振興の観点から、幅広く市民が参加できる種目や人気のある種目、時流に沿った種目を実施し、市民ニーズに対応した。 ② 情報提供・PR等に努め、参加者の増加を図った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○ 目標は達成したが、今後も市民ニーズに対応した種目を実施するとともに、情報の提供・PR等に努め、参加者の増加を図って行きたい。							
二次評価	●ワンデーレッスンは、事前の申し込みの必要がなく、当日、個人使用券を購入するだけで参加できるスポーツ教室である。 ●18年度には、「きままなエアロ」「のんびりヨーガ」など人気の教室に加え、民間のスポーツクラブなどで流行の「ピラティス」を新たに実施するなど、10種類の教室を開催し、当初設定した高い目標を達成できた。							
①	指標名	市民向け事業実施数			目標値	55	実績値	56
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	101.8%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位:本)	46	51	55				
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 専門的な知識をもった「野外活動サポートスタッフ」の育成事業を実施し、育成したスタッフに随行者として事業に参加してもらい、事業内容の充実を図った。 ② 事業終了後アンケートを実施し、その結果を事業運営に反映させることにより、参加者満足度の向上に努めた。 ③ 定員を大幅に上回る応募があった場合、予算やスタッフの確保、安全管理面等を総合的に検討し、二つの事業で定員を増やして実施した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○ 事業数は17年度実績から1本増やし、参加人数も17年度の3,220名から140名増えて3,360名となった。参加者アンケートの結果も概ね好評を得ている。今後も、参加者のニーズを把握し、内容の充実した事業を安全に実施していく。							
二次評価	●登山、キャンプやハイキングなどの野外活動事業については、18年度は56事業を実施し、昨年度よりも140名の参加者を増やすなど、当初設定した目標を達成している。 ●「野外活動サポートスタッフ」の育成を行っており、育成したスタッフの協力で、事業内容の充実を図っていることは評価できる。 ●野外での事業のため、悪天候等により中止となった事業等もあるが(18年度は4事業)、安全管理に重点を置きながら、なお一層、参加者のニーズに沿った事業運営を行ってほしい。							

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野スポーツ振興事業団						
②	指標名	自主事業収入			目標値	37,197千円	実績値	38,264千円
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	102.9%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:千円)	32,314	34,794	36,114				
	取組内容	<p>※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>① 参加者の増加を図るため、市報・情報誌への掲載、ホームページによる告知、チラシの配布等、情報の提供を積極的に行った。</p> <p>② 小・中学生向けの教室は、チラシを作成し学校を通して全児童、生徒に配布し、参加者の増加を図った。</p> <p>③ 大人向けの教室は、終了後アンケート調査等を実施し、その結果を事業運営に生かすことで市民満足の向上を図り、参加者増につなげる努力をした。</p> <p>④ 教室数を増やした。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>○ 総自主事業収入としては目標を達成したが、まだ参加率の低い教室も存在するため、今後も情報の提供・PR等に努め、参加者の増加を図るとともに、教室の見直しも行い、また教室数も増やして行きたい。</p>							
二次評価	<p>●スポーツ教室及び野外活動事業の参加料である自主事業収入は、毎年順調に増加してきており、18年度は前年度から6.0%の伸びを確保し、当初設定した高い目標を達成している。</p> <p>●公益法人制度改革及び指定管理者の指定更新の時期が迫っているなど、スポーツ振興事業団を取り巻く環境は厳しさを増している。常に民間との競争を意識した事業運営を行うとともに、団体のあり方、市との役割分担などをしっかりと整理しておく必要がある。</p>							
③	指標名	給与制度の見直し			目標値	能力給与制度の調査	実績値	能力給与制度の研究
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )							
	取組内容	<p>※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>東京都の制度導入について研究した。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>東京都及び武蔵野市の動向を注視しつつ、制度の調査・研究を進めたい。</p>							
二次評価	<p>●「給与制度の見直し」という目標設定を行い、能力給与制度の研究を行ったようだが、目標が数値化されておらず、評価が困難である。</p> <p>●「人事・組織」に関する適切な経営目標を設定する必要がある。</p>							